

人権 の 現在地

社会を読み解く7つの視点



第61回 特別展
2026

7.18 ㊦ – 10.25 ㊦ 9:00 – 17:00

休館日は第4月曜を除く月曜日、月曜日が祝日の場合は翌日。ただし8月の休館日は13日～15日、31日。

会場

福岡県人権啓発情報センター
春日市原町3丁目1番7号 [クローバープラザ7F]

入場料

大人200円 / 高校・大学生100円
※中学生以下・65歳以上等は無料

主催：福岡県、(公財)福岡県人権啓発情報センター
デザイン：FASONI DESIGN(北九州市)

後援：福岡県教育委員会、福岡県人権啓発活動ネットワーク協議会

人権 の 現在地

社会を読み解く7つの視点

人権とは、わたしたち一人ひとりが、自分らしく幸せに生きるために欠かせない権利です。戦後、日本では人権尊重の理念のもと、制度や法律の整備が進められてきました。しかしその一方で、貧困や格差の拡大、インターネット上での誹謗中傷、外国人への差別など、新たな人権課題も深刻化しています。

本展では、いま社会で起きている出来事を人権の視点から見つめ直し、私たちが生きる社会の「現在地」を考えます。

7つの視点から社会を見つめる

部落問題

上川多実さん

[BURAKU HERITAGEメンバー]

排除と貧困

稲葉剛さん

[つくろい東京ファンド代表理事]

外国人・移民問題

高谷幸さん

[東京大学准教授]

子ども・教育

谷口研二さん

[福岡県人権啓発情報センター館長]

若年女性の孤立

大西良さん

[筑紫女学園大学准教授]

複合・交差性差別

倉富史枝さん

[福岡ジェンダー研究所理事・西南女学院大学教授]

戦争・平和

永井玲衣さん

[作家・哲学者]

メインビジュアルについて

海の上を進む、小さな折り紙の船。
その船は、社会を航海する
私たち自身の姿です。

誰もが一度は手にしたことのある
身近な折り紙をモチーフにすることで、
人権を遠い問題ではなく、
自分自身の暮らしにつながるものとして
とらえました。

船に積まれた多面体は、
一人ひとりの人権を象徴しています。

FASONI DESIGN / (公財)福岡県人権啓発情報センター

主な展示

1

人権ってなに？

あらためて人権の基本的な事柄について、人権の歴史や世界人権宣言を参照しながら解説します。

2

人権の現在地

社会が抱える差別や分断、孤立戦争と平和について識者の論考を手がかりに考えます。

3

人権／誰かのことじゃない

人権問題に向き合い、考えるための特色ある教育の実践例について紹介します。

ひとりでも悩まず
ご相談ください

みんなの人権110番

最寄りの法務局につながります

TEL 0570-003-110

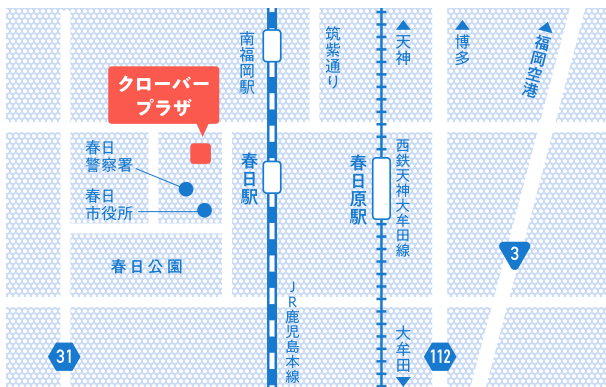
月～金 8:30-17:15

ふくおか人権ホットライン

弁護士が無料で法律相談に応じます

TEL 092-724-2644

毎月第4金 15:00-18:00



クローバープラザ7F [福岡県人権啓発情報センター]

福岡県春日市原町3丁目1番7号

- JR鹿兒島本線「春日」駅から90m
- 西鉄天神大牟田線「春日原」駅から720m

ご来場は公共交通機関をご利用ください

お問い合わせ

公益財団法人
福岡県人権啓発情報センター
TEL 092-584-1271
<https://www.fukuokaken-jinken.or.jp>

